

## はじめに

令和6年度の研究主題「ともに学び 未来を創る 鳥取の体育」～運動・保健の楽しさに浸り 豊かに関わり合いながら 課題を追求する子供～は、サブテーマを少し変更したものの、昨年の中・四国大会（鳥取大会）に引き続き、ほぼ継続することとなりました。

「運動の楽しさに浸り」を「運動・保健の楽しさに浸り」としたところが変更点です。鳥取県がビジョンを共有し、情報を交換し、役割分担して取り組んだ、「する・みる・支える・知る」の多様な関わりがわかる授業。体育や保健の授業に浸っている状態がわかる授業。準教科書「わたしたちの体育」や教科書「わたしたちの保健」の活用がわかる授業を今後も鳥取県の取組として継続するとともに、新たなキーワードをもとに視点を絞って実践を深めていきたいと考えたからです。新たなキーワードは、

運動・保健の楽しさに浸り・・・誰もがアクセスできる（指導の個別化）  
豊かに関わり合い・・・あつまり、ともに、つながる（協働的な学び）  
課題を追求する・・・つくる / はぐくむ（学習の個性化）

いずれも、これまでの研究に新たな価値づけをして、今後も取り組んでいきます。

わたしたちが模索してきたことは、学指導要領で重要視されている「協働的な学び」と「個別最適な学び」を体育科の学習に、いかに反映させていくかということです。それが子どもたちのやる気や仲間と学習することが楽しいという実感を引き出すことにもつながるものと確信します。

小学校の体育学習に真摯に取り組み、研究・実践を積み重ねていくことが重要と感じている先生方の集まりだからこそ、長年続けることができているのだと感じます。今年度も複数回にわたり、準教科書「わたしたちの体育」を活用した実技研修「やってみた！」が自主的に開催され、全県や他県にもその輪が広がりつつあります。活用方法だけでなく、実際にやってみてわかることも多く、授業づくりに役立つ点で、若い先生方ともつながってOJTの貴重な機会となっています。この研修が更に値打ちある活動となることを期待しています。

次の目標は令和9年に開催される「第66回全国学校体育研究大会」です。全国大会の研究主題はまだ定まっていませんが、小学校体育では、3校で公開が行われます。各校の取組ではなく、県小学校体育研究会が積み上げたことで提案授業をしていただきます。

「生涯にわたりスポーツが好きで、楽しんで取り組む人を増やすために、小学校の体育にできることは何か。多様な生涯スポーツ時代の小学校体育は、どのような「役割と姿」を持たねばならないのか。」人のつながりを大切にしながら、今後の小学校体育がやるべきことは何かを考え実践していく、鳥取県小学校体育研究会となりますよう、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

鳥取県小学校体育研究会  
会 長 近藤 剛夫